

## 9月定例会日程のお知らせ (予定)

9月20日(木)	定例会開会	(午前10時開議)
26日(水)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
27日(木)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
28日(金)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
10月1日(月)	各常任委員会	
3日(水)	本会議・閉会	(午前10時開議)

※この日程は、6月22日の議会運営委員会で内定したものです。なお、正式には9月18日開催予定の議会運営委員会で決定します。傍聴する場合は、議会事務局にご確認ください。

電話 22-1111/内線2411・2412

## 友好都市議員交流会

去る、5月30・31日の二日間  
にわたり、桑名市・行田市の議  
員の皆様をお迎えし、友好都市  
議員交流会を開催しました。こ  
の交流会は三市持ち回りで4年  
に一度開催されており、今回で  
4回目となります。

### 三市の友好都市議員交流会

文政六年(1823)に白河  
藩主松平定永(さだなが)が桑  
名藩主へ、桑名藩主松平忠亮  
(ただたか)が忍(おし)藩主  
(行田市)へ、忍藩主阿部正  
権(まさのり)が白河藩主へと



桑名、行田、白河三市の友好都議員交流の様子

いう国替えが行われまし  
た。この歴史的縁により  
教育、文化、経済各般に  
わたる交流への機運が高  
まり平成10年11月9日に  
白河市・桑名市・行田市  
の友好都市調印が行われ  
ました。

桑名市・行田市の両市

には、昨年の東日本大震

災直後から義援金のほか、

職員派遣など幅広い支援

をいただきました。



小峰城視察の様子

## 表紙写真の説明

大信地域、下小屋地区にある下小屋熊野神  
社に伝来する御正体である。  
御正体は、神と仏は一体であるとした神仏  
習合によって生まれた信仰の対象物で、神の  
本体とされた鏡と、仏教の本尊の仏像を合体  
させたもので、懸仏(かけほとけ)ともいう。  
熊野神社には、銅造が一面、鉄造が五面の  
計六面の御正体が伝えられている。銅造の御  
正体は、鏡板の中央に薬師如来坐像があらわ  
されている。その左右に花を生ける花瓶があ  
るが、大部分を欠失している。裏面の銘から  
永享五年(1433年)に「大檀那白河莊某  
父子」が下野国宇都宮の工人大和政房に作ら  
せたことがわかる。



写真は、六面ある御正体  
のうちの一つ。銅製のも  
のが一面と、鉄製のもの  
が五面ある。左側が銅製  
のもので直径は約60cm。  
右側は鉄製のものの一つ。

指定種別	県指定重要文化財 (工芸品)
指定年月日	平成7年3月31日
所在地	白河市大信下小屋
所有者・管理者	熊野神社

## 編集後記

第27号は大信地域の文化財になりました。  
数ある中から熊野神社の御正体を選ばせてい  
ただきました。  
この御正体  
は1443年、  
宇都宮の鑄物  
師によってつ  
くられ、現在  
は宮沢に鎮座  
する熊野社は  
伊那那美命と  
速玉之男命と  
ご祭神として  
お祭りしてい  
ます。



十文字博幸 室井 伸一 佐久間 進  
藤田 久男 ◎大花 務 ○深谷 博歩  
◎委員長 ○副委員長